

U45 / 佐野利器賞

日本大学校門建築会（桜建会）では、「U45 / 佐野利器賞」と名づけた事業を開始いたします。これは、「U45」という展覧会の開催と、「佐野利器賞」という賞の授与の2つを柱とする事業です。桜建会では、魅力ある活動を続ける「U45（45歳以下）」の建築家・構造物家・各種クリエイターたちによる建築作品や、建築に関わるさまざまな活動を、広く会員より募集して展覧会を開催し、在学生や卒業生のみならず、広く社会に向けて紹介することにより、会員の交流と活性化、支援と育成に寄与することを目的とします。大正期に日本大学高等工学校初代校長として日大建築の礎を築かれた佐野利器先生は、建築・構造から都市計画・復興計画まで幅広い分野で活躍されました。多様・多才であった佐野先生の名に因んだ2024年度「佐野利器賞」は、これからの新しい時代を創造し、建築界で広く活躍しようとする日本大学出身のU45を応援すべく、「その作品や活動を通して人を表彰する」ことを目的とした賞であり、隔年ごとに開催いたします。

募集対象と応募資格

U45（応募時45歳以下）の桜建会特別維持会員または正会員*により、企画・計画・設計・施工・運営などの関与のあった建築作品または建築に関わる活動（家具・インテリアから都市デザインまで）で、2020年4月1日から2024年7月31日までのあいだにその関与が行われたもの。なお、応募者は、主たる設計者として携わった者であり、作品・活動への貢献が最も高いと認められる者とします。共同設計者がいる場合は、主設計者は応募の同意を得ることが求められます。また、共同で応募する場合は、その共同設計者も桜建会正会員であることが求められます。

*未会員の応募希望者は、応募時に正会員登録の手続きを桜建会HPより行ってください。

提出物：展示物（A1判用紙・横使い・1枚）およびデータ類など

応募料：応募作品1点につき5,000円

応募締切：2024年10月31日（木）必着

応募の詳細は桜建会HPをご覧ください。

<https://www.okenkai.jp>



公開プレゼンテーション

プレゼンター：1次選出7作品の発表者
日時：1月10日（金）17時～20時
場所：日大理工駿河台
タワースコラ7階スタジオにて

※ OBOG建築家達の発表です、聴講自由

「U45」展覧会

日時：2024年12月6日（金）～

会場：日本大学理工学部駿河台校舎1階 CST ギャラリー

すべての応募作品・活動は、展覧会「U45」に展示します。

すべての展示作品・活動は記録集に掲載します。



桜門建築会

「佐野利器賞」審査

「U45」すべての応募作品・活動は、「佐野利器賞」の審査対象となります。

第2次審査は、第1次審査により選出された5件程度を対象として、プレゼンテーションおよび審査員による質疑応答を、

2025年1月10日（金）に公開にて行います。

第2次審査の場所は後日ホームページ上にてお知らせします。

必要に応じて現地審査を行います。

受賞作品・活動は3件以内とします。

「佐野利器賞」審査員（2024年度）



齋藤公男

（A-Forum 代表、日本大学名誉教授）

1938年、群馬県前橋市生まれ。1961年、日本大学理工学部建築学科卒業。1963年、同大学院理工学研究科博士前期課程建築学専攻修了。1973～91年、日本大学理工学部建築学科助教授。1991～2008年、同教授。2007年、日本建築学会会長。2016～20年、日本大学校門建築会会長。主な受賞は、「日本建築学会賞（業績）」（1986年）、「松井源吾賞」（1993年）、「Tsuboi Award」（1997年）、「Pioneer Award」（2002年）、「日本建築学会教育賞（教育分野）」（2007年）、「IASS Torroja Medal」（2009年）。主な著作は、『新しい建築のみかた【最新版】』（エクスナレッジ、2014年）、『空間構造物語—ストラクチャル・デザインのゆくえん—』（彰国社、2003年）。主な作品は、金沢駅・もてなしドーム（2004年）、山口・きららドーム（2002年）、静岡・エコパスタジアム（2001年）、唐戸市場（2001年）、酒田市国体記念体育館（1991年）、グリーン・ドーム前橋（1990年）、日本大学理工学部フェラデーホール（1978年）、岩手県宮体育館（1967年）。

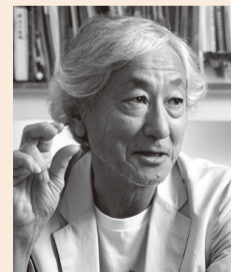


鍋島千恵

（建築家、TNA）

1975年、神奈川県生まれ。1998年、日本大学生産工学部建築工学科居住空間デザインコース卒業。1998年、手塚建築研究所入社。2004年、TNA 一級建築士事務所設立。主な受賞は、「新建築賞（吉岡賞）」（2009年）、「JIA 新人賞」（2010年）、「Brunel Awards」（2014年）、「日本建築学会賞（作品）」（2015年）。「BCS 賞特別賞」（2015年）、「東京建築士会住宅建築賞」（2007年、2009年、2015年）。

主な著書は、『JA105 Makoto Takei + Chie Nabeshima/TNA 2004-2016』（新建築社、2017年）。主な作品は、「庭の床／福武トレス F ギャラリー」（2023年）、「カモ井加工紙営業事務所棟」（2023年）、「上州富岡駅」（2014年）、「構の郭」（2013年）、「カモ井加工紙第三攪拌工場史料館」（2012年）、「カタガラスの家」（2008年）、「輪の家」（2006年）。



横河健

（建築家、横河設計工房）

1948年、東京都生まれ。1972年、日本大学芸術学部卒業。1972年、黒川雅之建築設計事務所。1976年、設計事務所クレヨン & アソシエイツ設立。1982年、株式会社横河設計工房。2001～13年、日本大学芸術学部兼任講師。2003～13年、日本大学理工学部建築学科教授。2004～06年、JIA 日本建築協会副会長。2014～15年、日本大学理工学部建築学科特任教授。2016年～武蔵野美術大学建築学科客員教授。

主な受賞は、「東京建築賞／都市計画局長賞」（1989年）、「日本建築学会賞作品賞」（1999年）、「ベネディクトス賞特別賞」（1999年）、「JIA 環境建築賞」（2002年）、「JIA25年賞」（2004年）、「JIA 協会賞」（2011年）。主な著書は、『KEN YOKOGAWA landscape and houses』（新建築社、2012年）、『美しい住宅へ』（左右社、2023年）。主な作品は、THE TWIST（2022年）、早坂邸・那須塩原の多面体（2012年）、THE TERRACE（2002年）武蔵野市立0123はらっぱ（2001年）、CESS 埼玉環境科学国際センター（2000年）、C.T.O GLASS HOUSE（1998年）、警視庁日比谷公園前派出所（1987年）、トンネル住居（1978年）。

主催：日本大学校門建築会